

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 02 生涯学習の充実

主管課 生涯学習課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (24年度)	施策の課題 (24年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化、高度情報化、国際化が進む中で、地球規模の環境悪化、産業構造の変化による雇用の不安定化や経済的格差の拡大などの問題が深刻化している。 ・ 少子化、核家族化の進行により、家庭や地域における教育力の低下が進んでいる。 ・ 物質的な豊かさに加え、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を過ごし、その中でそれぞれの自己実現を図ることを求める人が増えており、精神的な充実や生活向上を求め、生涯学習への要求が多様化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の変化に応じ、社会生活を営む上で必要な知識や技能等を習得し、それぞれが持つ資質や能力を伸長することのできる学習機会を提供するなど、より一層の学習支援の充実が必要である。 ・ 市民協働の促進を図るとともに、家庭や地域教育力の向上を図るべく、学校、地域、家庭の連携の強化が必要である。 ・ 人材育成に向けた学習支援とともに、その人材を地域やまちづくりに生かす循環型の学習システムの構築が必要である。 ・ 限られた財源の中で、老朽化する社会教育施設の整備を、どう計画的に行うかが課題である。また軽微な補修は、指定管理者とのリスク分担の中で実施していく。

施策の目的

生涯にわたって学習できる環境を整えることによって、市民が生涯学習を行う機会が増加し、自己の充実を図り、生きがいを見いだすことができるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生涯学習を行う市民が増加する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
生涯学習を行う市民割合	%	38.7	-	43.1	43.8	↗

施策の達成状況 (24年度)

少子高齢化、高度情報化、国際化が進む中、地域活性の一端として生涯学習が必要とされている。成果指標においても、初期値からの流れを見ると、生きがいのある人生を過ごし、精神的な充実や生活の向上を目指すことが定着しつつあると捉えることができる。今後も、より一層学習機会の提供や既存施設の整備を図り、学習の成果を地域やまちづくりに発揮できるような環境整備に努めていく。

施策事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	327,824	320,223	330,661
事業費(千円)	255,989	240,463	250,101
人件費(千円)	71,835	79,760	80,560

01 生涯学習関連施設の充実

基本事業の目的

図書館や公民館などの施設を充実させることにより、生涯学習に取り組む市民・団体に学習する場を提供することができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

生涯学習関連施設

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・学習目的を達成する場がある。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
生涯学習施設が充足していると思う市民割合	%	71.1	-	75.7	75.2	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

公民館については、平成18年度から指定管理体制を導入している。効率的な管理運営と事業実施の中で利用者ニーズに応えられていることが指標の安定に繋がっていると分析する。公民館利用者数についても前年度と比べて2千人ほど増加している。また、利用者アンケート調査の施設満足度についても、満足・普通とした回答が下半期で87.5%とかなり高い割合であった。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	259,863	265,025	273,737
事業費(千円)	220,937	219,734	228,220
人件費(千円)	38,926	45,291	45,517

02 生涯学習支援体制の推進

基本事業の目的

市民に学習に関する情報を提供したり実施団体に対して補助・支援を行い、利用者が自分たちで活動・学習内容を選択するための情報を得ることができるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

学習情報の利用者、生涯学習を主体的に行う団体

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・自分たちで主体的に活動・学習内容を選択するための情報を知ることができる。
・組織を作り自分たちで活動できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
生涯学習の情報が充足していると思う市民割合	%	70.5	-	71.2	74.5	↗
生涯学習を主体的に行う団体数【社会教育関係団体登録数】	団体	240	249	228	235	240

基本事業の達成状況 (24年度)

生涯学習課では、社会教育関係団体が利用する施設の減免や青少年ふれあい交流促進事業での補助金、更に社会教育団体への交付金事業を通し生涯学習支援を行なっている。指標である社会教育関係団体の登録数も増加している。また、生涯学習課並びに同課が事務局を務める生涯学習推進協議会による広報活動の推進により、生涯学習情報の充足に対する指標は70%を超えるパーセンテージを維持している。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	6,572	6,644	6,572
事業費(千円)	2,158	2,235	2,141
人件費(千円)	4,414	4,409	4,431

基本事業の目的

生涯学習を受ける機会を充実させることによって、様々な生涯学習に取り組む市民が増えるとともに、その学習成果を社会の中で活かすことができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

生涯学習に取り組む市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・学習機会がある。
- ・学習目的にあわせた指導が受けられる。
- ・個人学習に必要な資料の提供が受けられる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	22年度	23年度	24年度	後期目標値
生涯学習機会が充実していると思う市民割合	%	70.2	-	72.2	72.0	↗
学習した成果をまちづくりやボランティア活動等に活かしている市民の割合	%	-	-	22.1	23.3	↗

基本事業の達成状況 (24年度)

幼児と親、児童生徒、成人、高齢者といった世代別に応じた学習機会の提供に努めており、生涯学習機会の提供については、一定のレベルを満たしていると捉えることができる。特に、青空子どもの広場など体験参加型の事業では、多くの参加者が満足感を示している。その一方で、蓄積した学習結果を市民がどう生かしていくかという次のステップについては、生涯学習課の事業を超えた今後の課題となっている。

基本事業コスト	23年度決算額	24年度決算額	25年度当初予算
トータルコスト(千円)	44,701	31,425	32,243
事業費(千円)	22,228	7,377	8,076
人件費(千円)	22,473	24,048	24,167

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	年度	年度	年度	後期目標値

基本事業の達成状況

基本事業コスト	年度決算額	年度決算額	年度当初予算
トータルコスト(千円)			
事業費(千円)			
人件費(千円)			